

# 9月ほけんだより

令和2年9月 虹のこころ保育園

遅い梅雨明けから猛暑が続く毎日でした。9月は上旬と下旬、一日のうちでも気温差の大きい月です。また、少しずつ夏の疲れが出てくる頃です。全身のだるさや食欲不振、便秘や下痢、発熱といった体調の乱れが現れてきます。乳児は特に機嫌の良し悪しなどに注意し、十分な休息、栄養に配慮し、生活リズムと体調を整えてあげましょう。

## \*9月のほけん行事\*

頭髪検査 7日・23日

身体測定 ひまわり、ゆり、ちゅうりっぷ9日 すみれ、あじさい、よつば16日

※これから気温差や夏の疲れなどで体調を崩す事が増えてくると思います。コロナウイルス、その他感染症の感染拡大防止のためお子さんが処方薬を内服中の場合は体調が万全になるまで登園を控えるようお勧めします。

やむを得ず受診後登園する際は診療時の詳細を必ず保育者にお伝えください。

## 9月9日は救急の日

不慮の事故の対応方法について

### やけど

熱いものに接触することにより皮膚が損傷された状態です。火傷をしたら何を差し置いても**まず冷やすこと**。



- ①患部に触れないように注意し流水をあて冷やします。最低でも20分は冷やしますが、子どもが寒さで震えてきたらストップします。
- ②ある程度冷やしたら衣服を脱がせます。皮膚から剥がれない時はその部分の衣服は残したままにしておく。
- ③患部全体を湿らせた布やタオルで覆いその上から保冷剤などで冷やした状態で受診する。

### 誤嚥(ごえん)

何らかの異物が誤って気道(空気の通り道)に入り込んでしまった状態です。のどに詰まったものが取り除けないときは、背中を叩いたり胸を圧迫するなどしてとにかく吐き出させます。

- ①反応ある乳児に対して、背中を強く叩く方法(背部叩打法)  
・手の付け根で両側の肩甲骨の間を4~5回叩く。



乳児の場合は、股の間から手を入れて胸のあたりを支え頭を下にして背中を叩きます



幼児の場合はお腹を抱えて下になるよう持ち上げ背中を平手で叩きます

- ②反応ある乳児に対して、胸骨を圧迫する方法(胸部突き上げ法)  
・背部叩打法で除去できなければ、仰向けにし、胸骨圧迫の要領で4~5回圧迫する。

### 知っているとな役に立つ電話番号



#### #8000 小児救急電話相談

休日、夜間の急な子供のケガや病気について小児科医から緊急度の判断などのアドバイスを受けられます

#### 189 児童相談共通ダイヤル

虐待通報の電話として知られていますが、子育てについての相談にも

#### 171 災害用伝言ダイヤル

災害時に利用できる声の伝言板